

長野の林業

令和2年2月10日発行
長野の林業編集委員会

No.361

もくじ



特集

長野県ふるさとの森林づくり賞・林業関係ポスターコンクール・きのこ料理コンクール	2
カラマツ林業等研究会	3
トピックス	4
山主の思いに応えるきめ細やかな山仕事	4
里山整備利用地域での活動	5
災害に備える森林保険	
お知らせ	6
中部労働技能教習センター	6
県森連だより	7
長野県の木材市況	8



【ふるさとの森林づくり賞 受賞者の皆様】



【きのこ料理コンクール 知事賞受賞料理】
「きのこことサバ缶のオープン焼き」

【林業関係ポスターコンクール知事賞の作品】



令和2年1月30日(木)に長野県庁講堂において、「令和元年度長野県ふるさとの森林づくり賞・林業関係ポスターコンクール・きのこ料理コンクール表彰式」が開催され、受賞者やその関係者など、多くの皆様にご来場されました。

受賞者の皆様が、この受賞を契機とし、ますますご活躍されることをお祈り申し上げます。

令和元年度長野県ふるさとの森林づくり賞・林業関係ポスターコンクール・きのこ料理コンクール表彰式を開催しました

令和2年1月30日(木)に長野県庁講堂において、森林・林業の振興に貢献された皆様や、林業関係ポスターコンクールにおいて優秀な成績を収められた児童・生徒の皆様及びきのこを材料にしたアイデアあふれる料理を考案された皆様に対する表彰式を開催しました。

当日は、県内外から受賞者33名、関係者を含めて約100名の皆様にご参加いただき、盛大に表彰式を開催することができました。

長野県ふるさとの森林づくり賞受賞者

部門	賞名	受賞者名	(住所・所在地)
ふるさとの森林づくり大賞	長野県知事賞	唐澤 信男	(伊那市)
	長野県森林組合連合会長賞	榎 忠夫	(岐阜県中津川市)
	長野県知事賞	油井 郁恵	(南佐久郡川上村)
	長野県森林組合連合会長賞	佐久穂町林業創生戦略研究会	(南佐久郡佐久穂町)
	長野県林業普及協会賞	株式会社おとぎの里	(上田市)
	長野県特用林産振興会長賞	社会福祉法人信濃こぶし会	(下伊那郡豊丘村)
	長野県林業振興会賞	南信州hunters	(飯田市)
	長野県林業労働財団理事長賞	古澤 昇一	(木曾郡木曾町)
	長野県知事賞	ハスクバーナ・ゼノア株式会社	(埼玉県川越市)
	長野県知事賞	駒澤大学高等学校	(東京都世田谷区)
長野県教育委員会賞	新緑会	(佐久市・南佐久郡)	
長野県緑の基金理事長賞	浪台学校(みどりの少年団)	(下伊那郡阿智村)	
長野県知事賞	新井 優	(飯田市)	
長野県知事賞	中野市高社山四区共有林運営委員会	(中野市)	
長野県森林組合連合会長賞	新町里山整備利用推進協議会	(上伊那郡辰野町)	
長野県木材協同組合連合会理事長賞	株式会社熊木住建	(長野市)	

長野県林業関係ポスターコンクール受賞者

部門	賞名	受賞者名	(学校名)
愛鳥週間用ポスターの部	長野県教育委員会賞	村田 千波留	(上田市立豊殿小学校)
		野田 一花	(木曾町立木曾町中学校)
		池田 みのり	(長野県上田東高等学校)
		林 遥佳	(飯田市立千代小学校)
		伊藤 千紘	(南箕輪村立南箕輪中学校)
		丸山 里紗	(長野県松本深志高等学校)
		橋詰 若奈	(佐久市立岩村田小学校)
		堀田 虹波	(諏訪市立中州小学校)
		野原 優音	(南箕輪村立南部小学校)
		松村 怜	(飯田市立千代小学校)
		神山 優輔	(木曾町立木曾町中学校)
		宮下 葵衣	(安曇野市立豊科北中学校)
		青木 芽衣	(長野市立豊野中学校)
		大原 さくら	(木曾町立木曾町中学校)
		奥村 遥花	(長野県豊科高等学校)
丸山 令衣亜	(長野県上田東高等学校)		
林 翔斗	(長野県阿南高等学校)		
倉沢 優里	(長野県豊科高等学校)		
深作 太一	(佐久市立田口小学校)		
加藤 華	(下諏訪町立下諏訪北小学校)		
海老澤 晴	(長野県諏訪清陵高等学校附属中学校)		
須江 直也	(長野県佐久平総合技術高等学校)		
吉田 双葉	(上田市立清明小学校)		
村上 輝	(佐久市立佐久平浅間小学校)		
矢嶋 愛子	(塩尻市立広陵中学校)		
中島 悠介	(長野県佐久平総合技術高等学校)		

部門	賞名	受賞者名	(学校名)
愛鳥週間用ポスターの部	長野県教育委員会賞	大垣 奈央	(須坂市立旭ヶ丘小学校)
		村上 彰	(佐久市立佐久平浅間小学校)
		橋詰 若奈	(佐久市立岩村田小学校)
		清水 葵生	(木曾町立木曾町小学校)
		片桐 愛実	(根羽村立根羽小学校)
		高橋 美月	(池田町立高瀬中学校)
		上野 咲来	(中野市立高社中学校)
		伊藤 咲太	(宮田村立宮田中学校)
		小山 詩乃	(長野県豊科高等学校)
		宮下 颯斗	(長野県上田東高等学校)
		佐々木 明	(長野県佐久平総合技術高等学校)
		池内 佑斗	(長野市立三輪小学校)
		江村 羽音	(南箕輪村立南部小学校)
		中沢 瑛斗	(上田市立塩田西小学校)
		石崎 樹	(佐久市立佐久平浅間小学校)
片桐 侑祐	(宮田村立宮田小学校)		
佐野 天咲	(伊那市立立春富中学校)		
福村 智未	(木曾町立木曾町中学校)		
阪口 まいこ	(安曇野市立豊科北中学校)		
征矢 春菜	(長野県高遠高等学校)		
鎌田 有貴	(長野県松本深志高等学校)		
山下 優季	(長野県高遠高等学校)		

長野県きのこ料理コンクール受賞者

賞名	受賞者名	(学校名・住所)
長野県知事賞	今井 帆乃佳	(長野県上田千曲高等学校)
信州きのこ祭り推進協議会長賞	二村 響音	(長野県上田千曲高等学校)
長野県特用林産振興会長賞	清水 久子	(中野市)
	内田 有美	(長野県下高井農林高等学校)
	西澤 徹志	(中野市)

※受賞者のご功績や作品等の詳細は、長野県ホームページ <https://www.pref.nagano.lg.jp/> から「組織・機関」→「長野県の組織一覧(本庁)」→「林務部」→「森林政策課」→「コンクール等表彰式」のページからご覧いただけます。

四十年を迎えた カラマツ林業等研究会

昭和五十四年に設立したカラマツ林業等研究会は、今年度で四十年を迎えました。会では、カラマツを中心とした長野県の森林・林業・林産業の発展に向けた研究発表会を毎年開催しています。毎年の研究発表会では、産業界、行政、大学などで進めてきたカラマツを中心とした研究成果が報告され、長野県におけるカラマツ林業を推進する一翼を担っています。

今回、設立四十年を迎えたということで、令和二年一月八日に塩尻市のレザンホールを会場に、記念シンポジウムを開催しました。シンポジウムの開催にあたっては、木と関わる交流の場を作ってきた「木と文化の環境フォーラム」との共催で実施し、県内各地から百八十名の参加者が集まりました。

シンポジウムでは、カラマツ林の面積が日本一である北海道でカラマツの有効利用を進めている北海道林産試験場から二名の研究者をお迎えし、「北海道におけるカラマツの川上から川下までの取組」と題し、基調講演をお願いしました。

基調講演では、まず、利用部の酒井明香主査から「資源循環と低コスト化の両立を目指して」と題し、長野県から供給されたカラマツ苗木が成長し、主伐の時期を迎え、カラマツ林から効率よく木材を生産するためのシステムを開発するとともに、伐採した際に出る枝葉を効率的に集めてバイオマス利用につなげる取組を紹介いただきました。これを受けて、技術部の大橋義徳主査からは「付加価値



の高い木材利用を目指して」と題し、建築用材としての利用が少ない北海道産のカラマツを優良な建築用材として販売していくために進めてきた製品開発の事例を紹介いただきました。

その後、県内でカラマツ材の利用開発に関わっておられる印出晃（ヒルデブランド）氏と前田大作（アトリエ・エムフォオ）氏、当センター所長の春日嘉広がそれぞれの取組を紹介しました。

その後、登壇した五名をパネリストとして、信州大学農学部の小林元准教授の進行で、これからのカラマツ林業をどのように展開していけば良いのかについて会場からの質疑を受ける形で議論を深めました。

今回の講演内容については、林業総合センターが発行する「技術情報カラマツ林業等研究会特集号」で紹介いたします。なお、当センターの技術情報は、林業総合センターWebサイト

(<http://www.pref.nagano.lg.jp/ringyosogo/seika/gijyutsu/g-index.html>)でもダウンロードすることが出来ます。

【林業総合センター指導部】



山主の思いに応える きめ細かな山仕事

先人や自分が若いころ植えて育ててきた森林について、これからの収穫に期待する一方で、育てた木が大きくなって、日陰になったり、倒木の危険を感じたり、松枯れなどの心配を感じている方も多
いと思います。

そんな期待や悩みに対して、「金井山素材」の金井溪一郎さんは、きめ細かな仕事で応えています。

金井さんは、山主さんから相談を受けて山を見た後、伐採の方法やその後の管理の方法について複数のプランを提示したうえで山主さんと打ち合わせを行い、その思いに沿った仕事をするように心がけています。

請負う施業地は小規模なものが多く、一般的な里山の森林整備からロープを使用した吊るし切りなどによる立木の特殊伐採、高木となった庭木の処理など様々な現場で、本年度林業セミナーを受講した奥さんや数名の仲間と作業しています。丁寧な施業により、里山が整備されるだけでなく、住宅地の近辺でも倒木などの心配がなくなり、施主や近隣の方々に安心感を与えています。



金井溪一郎氏夫妻(後列)と仲間の唐木さん上村さん(前列)



ビニールハウスを使った乾燥施設

生産された木材は立木で買い取り、木材市場や合板、パルプなどに販売する他に、製材所から個別の注文を受けたり、委託製材した材をビニールハウスで乾燥させ、家具用材や住宅用材に加工して販売するなど、工夫した販路を用意することで施主の経済的な負担軽減につなげています。

また、木材の他にも、正月用の松飾りやお盆の迎え火や工芸に使うシラカバの樹皮などの販売を行い、山の恵みを様々な形で活かしています。

林業は山主さんと材を買ってもらう方を相手にしたお客様商売。林産物の販路を工夫しながら、山主さんの意向に沿ったきめ細やかな山づくりにより、山主さんに喜んでもらえるような仕事に励まれています。

【上伊那地域振興局林務課】



里山整備利用地域での活動が広がっています

地域と森林の関係の再生に向けて、地域の方々を主体とした協議会による里山整備利用地域での活動を森林づくり県民税で支援しています。

これまでに67地域(令和2年1月31日時点)が認定を受けており、森林整備、安全技術研修会、薪や原木キノコの生産、竹林整備、マツタケ山の整備、遊歩道の整備、希少種の生息環境の保全、森林療法講習会、自然教室等の活動が行われています。

協議会の幅広い活動が支援対象になりますので、地域の里山で活動を始める際は、最寄りの地域振興局林務課にお問い合わせください。

【森林政策課】

支援内容	補助率等
地域活動等への支援 計画作成、講師謝金、林内活動用具等	10/10以内
資機材導入、歩道等整備への支援 薪割り機、ウインチ、チップパー等	3/4以内
里山の多面的機能の活用に向けた 間伐等への支援	9/10以内



災害に備える森林保険

冬期の積雪による幹折れや雨水害、春先の森林火災が心配...

森林保険に加入しておけば安心です！

※平成31年4月より森林保険の保険料率見直し等の改定が行われました。



[長野県1ha当たりの代表例] 樹種毎の標準的な保険金額と保険料 (保険期間：平成31年4月1日～)

契約時 林 齢	カラマツ			ヒノキ		
	保険金額 被災時の 受取額	1年分	5年分 一括払	保険金額 被災時の 受取額	1年分	5年分 一括払
1年	80万円	3,432円	20,296円	101万円	4,332円	27,444円
2年	92	3,946	割引額 2,439円	119	5,105	割引額 3,356円
3年	108	4,633		144	6,177	
4年	119	5,105	割引額 2,848円	166	7,121	割引額 4,810円
5年	131	5,619		188	8,065	
26年	177	5,699	25,647	299	9,627	43,325
27年	177	5,699	割引額 2,848円	299	9,627	
28年	177	5,699		299	9,627	割引額 4,810円
29年	177	5,699	299	9,627		
30年	177	5,699	299	9,627	9,627	



加入してよかった

保険料の一例です。保険加入は20年生、50年生など、いつでも可能です。保険加入契約は、1年毎よりも割引のある5年分・10年分など一括契約がお得です！

【問い合わせ先：長野県森林組合連合会(TEL 026-226-2504)、またはお近くの各森林組合へ】

<長野県林務部森林づくり推進課>



長野県労働局長登録教習機関 長野県知事認定職業能力開発校

一般社団法人 中部労働技能教習センター

労働安全衛生法に基づく資格取得講習を実施しています

充実した施設、充実した講習

46年の歴史と28万人の実績

中部労働技能教習センターは、昭和49年の設立以来、常設の多目的教習機関としてクレーン及び移動式クレーンの実技教習並びに車両系建設機械、小型移動式クレーン、フォークリフトなど、各種技能講習および特別教育の資格取得講習を実施しています。

受講しやすいきめ細かな年間計画により、どなたでも運転資格等が取得できるように、経験豊かな講師陣がお待ちしています。

当センターで取得できる主な資格

実技教習（免許教習）

- ・クレーン・デリック運転士免許
- ・移動式クレーン運転士免許

技能講習

- ・車両系建設機械（整地等）運転
- ・車両系建設機械（解体用）運転
- ・車両系建設機械（基礎工事用）運転
- ・不整地運搬車運転
- ・高所作業車運転
- ・小型移動式クレーン運転
- ・床上操作式クレーン運転
- ・玉掛け
- ・フォークリフト運転
- ・ショベルローダー等運転
- ・はい作業主任者

特別教育

- ・クレーン運転
- ・小型車両系建設機械（整地等）運転
- ・ローラー運転
- ・高所作業車運転
- ・フォークリフト運転
- ・巻上げ機（ウインチ）運転
- ・ロープ高所作業
- ・フルハーネス型墜落制止用器具



< 長野県下、4会場で講習を実施しています >

※実施会場が限られている種目があります。詳しくは当センターまでお問い合わせください。

飯田会場 / 〒395-0154 長野県飯田市下殿岡478-1
 (本部) <https://www.ginosenta.or.jp>
 E-mail: info@ginosenta.or.jp

☎ 0265-25-4444 FAX 0265-25-4455

中部労働技能教習センター



長野会場 / 〒381-1225 長野市松代町東寺尾2681-3
 松本会場 / 〒390-0851 松本市大字島内(小宮)729-1
 佐久会場 / 〒385-0032 佐久市常和1353-1-13

☎ FAX 026-278-9255

☎ FAX 0263-47-4443

☎ FAX 0267-78-3935

Webサイト

長野県協同組合 職員交流集会開催

令和2年1月21日、J A長野県ビル(長野市)で、長野県協同組合職員交流集会(主催・長野県協同組合連絡会)が開催されました。この集会は、長野県内の協同組合の職員が、お互いの理解と連携を深めることを目的に毎年開催されています。

まず、基調講演として、J C A(日本協同組合連携機構)副主任研究員阿高あや氏より、「協同組合とSDGs」と題して、協同組合の成り立ち等の時代背景、協同組合の役割について説明がありました。また、協同組合の一般市民からの認識について紹介があり、広報を通じて、理念と事業内容の周知の重要性を改めて感じる機会になりました。協同組合の理念はまさにSDGsそのものにつながるものであり、示唆に富んだ講演でした。

続いて、グループワークが行われ、それぞれが達成したいと考えるSDGsの目標を共有し、長野県の協同組合連携で達成できる解決策を考え、最後にまとめた結果を「SDGs宣言」として班ごとに発表しました。

各班とも、活発な議論が行われ、学びと発信の重要性や、地域

の森林資源や農産物等を活用した居場所づくり、長野県の協同組合連携による、SDGsロゴマークの作成など、様々な提案がありました。



グループワークの様子

県森連管理職研修会開催

令和2年1月21、22日の二日間に分けて、県森連の管理職研修会が開催されました。この研修会は、組織のまとめ方や運営の技術、職員の特性の把握や評価、業務へのフィードバックの方法等、管理職個々のスキルアップを目的としています。このような研修会の開催は県森連として初の試みで、管理職全員が参加しました。

当日は、長野経済研究所所長インストラクター藤沢裕克氏を講師にお招きし、管理者の立場と役割、マネジメントとリーダーシッ

プの違い、職場におけるコミュニケーション、人事考査の基本等について説明をいただきました。研修は、実際の職場での場面を想定して対話などを織り交ぜて行われました。

県森連では、今後も随時このような研修会を開催し、職場の意識改革や、労働生産性の向上を目指します。

令和元年度QGIS研修会開催

令和2年1月24日、もくりゅう館(安曇野市)で、令和元年度QGIS研修会(主催・長野県造林協会・長野県森林組合連合会)が開催されました。本研修会は、森林経営管理制度の本格始動を受け、市町村と森林組合等の連携がこれまで以上に重要となる中で、地域の森林情報の効率的な管理を進めるうえではGISの活用が欠かせないことから、基本的な操作方法を習得していただくことを目的としました。GISのなかでも、QGISは、フリーソフトでありながら機能性に優れ、導入が容易で、森林管理業務においては非常に有用なツールです。

当日はまず、長野県森林経営管理支援センター課長補佐井出政次氏から、森林経営管理制度とGISの活用について説明をいた

いただきました。

その後、松本広域森林組合集約・木販課長山本健太氏を講師に、QGISの操作方法と基本的機能について学習したほか、森林計画図や森林簿、標高データ等を使って地図を作成していく演習を行いました。また、作成した地図をGPS端末やスマートフォン等に入れて現場に持ち出す方法や、オゾン写真、航空レーザデータ解析結果の活用方法等について説明を行いました。

参加者からは、「同様の研修会があれば関係者に参加を勧めたい」「応用編の研修会を開催して欲しい」等の意見を多数いただきました。

参加者の皆様には、今回習得したスキルをもとに、QGISを地域の森林情報の管理に活用していただくことを期待しています。



演習形式で行われたQGIS研修会

長野県の木材市況

令和二年二月十日発行 長野の林業通巻三六一号

発行 長野の林業編集委員会
長野市岡田町長野県林業センター内
電話〇二六(二三七)五〇一五
Eメール Nagarin-center1@qa3.so-net.ne.jp

電話〇二六(二三六)五六二〇
Eメール rinfukyo@giga.ocn.ne.jp

第1034回 市況表

(令和2年1月29日実施)

長野県森林組合連合会 伊那木材センター



Tel 0265-72-2684 Fax 0265-76-8759

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/m ³)	中値(円/m ³)	備考
ひのき	3.0	直	14~16	16,000	13,000	引き合いあり。
		直	18~22	17,000	14,500	
		直	24~30	14,000	10,000	
すざぎ	3.0	直	14~16	14,000	9,000	直造材でお願いします。
		直	18~22	18,100	12,500	
	4.0	直	24~28	16,000	10,000	
		元	46	75,600		
すざぎ	3.0	直	16	10,000	8,000	3m、4m(φ18cm~φ38cm)直材限り需要あり。
		直	18~22	7,500	5,000	
	4.0	直	18~22	12,000	8,000	
		直	24~28	13,000	8,000	
もみ	4.0	直	18上	12,000	7,000	安定的な需要あり。
		さくら	2.8	22	40,200	
なら	4.0	直	30上	15,000	10,000	安定的な需要あり。
		込	14~18	12,000	9,000	
くり	4.0	直	18~22	27,000	15,000	
あまつ	4.0	直	36上	15,000	9,000	需要あり。
からまつ	5.0	元	34上	18,000		良材高値。
		込	20上	16,000	12,000	需要あり。出品願います。

出品量 1,269m³ 販売量 1,269m³ 落札率 100% 買い方 28社

出品にご協力いただきありがとうございました。今回の市売りでは、ひのき元玉、良材に高値がつき、また、並材にも応札が集中し活発な市売りとなりました。あまつ、からまつ材も需要時期とあって、価格も安定しています。伐採される方は是非、出品にご協力お願い致します。尚、出材には合法認定業者の登録をお願いするとともに出材時にはその都度、合法認定番号及び伐採地と伐採箇所を詳しく記載した納品書及び伐採届の提出をお願いします。
*安全のため荷下ろし、積込みの際には車止め、またヘルメットの着用をよろしく願います。

第1036回 市況表

(令和2年1月30日実施)

長野県森林組合連合会 中信木材センター



Tel 0263-77-2347 Fax 0263-77-2349

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/m ³)	中値(円/m ³)	備考
すざぎ	3.0	直	16~18	11,000	9,000	3.0m×16~22cm柱取り引合いあります。20cm上は4.0m造材してください。
		直	20~28	13,000	10,000	
ひのき	3.0	直	20上	18,000	13,000	価格横ばい。
		直	18~28	18,000	14,000	
かまづ	4.0	込	6~13	12,000	8,000	材不足しています。細物5cm~13cm引合い強し。ご出品お願いいたします。
		直	14~18	14,000	12,000	
		直	20上	18,000	14,000	
		曲	14~18	13,500	12,000	
あまつ	4.0	込	26~56	10,000	6,000	今後に期待。
		込	24~50	20,000	8,000	
くり	3.0~5.0	込	20~34	54,000	13,000	応札活発。
ほお	3.0~4.0	込	18~34	18,000	12,500	
なら	3.0~4.0	込	14~34	15,000	13,000	
げき	3.0~4.0	一本	40~60	35,000	20,000	
くらみ	4.0	込	18~40	18,000	10,000	
さくら	2.0~4.0	込	26~50	35,000	12,000	

出品量 4,963m³ 販売量 4,395m³ 落札率 89% 買い方 36社

今回は、国有林カラマツ材と広葉樹中心の応札活発な市売りとなりました。しかし需要期にもかかわらず、アカマツ長尺材(6.0m以上)に以前のような値がつかず、不安が残りました。尚、当連合会は合法木材に取り組んでおります。合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

第1068回 市況表

(令和2年1月29日実施)

長野県森林組合連合会 北信木材センター



Tel 026-295-5546 Fax 026-295-5547

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/m ³)	中値(円/m ³)	備考
すざぎ	3.0	直	16~18	13,000	9,000	柱材需要あり。直造材でお願いします。
		直	20上	13,500	11,000	直造材でお願いします。
		直	20上	13,500	11,000	直造材でお願いします。
	4.0	込	8~13	5,500	4,500	需要あり。出品願います。
		直	14~20	12,500	10,000	出品願います。
		直	22~28	14,000	12,000	直造材で出品願います。
かまづ	4.0	直	30上	18,000	11,500	直造材で出品願います。
		曲	14~18	8,000	5,500	
	4.0	込	6~13	11,000	6,000	需要あり。直造材を心がけて下さい。
		直	14~18	12,500	9,000	出品願います。
くり	4.0	直	20上	20,000	14,000	需要あり。積極的に出品願います。
		曲	14~18	6,000	5,000	
		曲	20上	14,000	13,000	
からまつ	2.0		38	31,000		
	2.8		44	42,000		
	3.2		48	40,000		
	3.0		34	33,000		
	4.2		42	40,000		

出品量 4,443m³ 販売量 4,250m³ 落札率 96% 買い方 45社

1月とは思えないほどの暖かい陽気の中「広葉樹祭り」ということで、多くのお客様にご来場いただき、高値続出の大変賑やかな市売りとなりました。良材の出品にご協力いただいた出荷者様には、この場をお借りして御礼申し上げます。市況としまして、カラマツについては依然として高値で安定しております。スギについては、前回同様横ばい傾向となっております。どちらも需要は旺盛ですので、丁寧な造材を心がけていただき、積極的にご出品願います。また、広葉樹については、大径材や欠点の少ない材に高値が多く見られました。広葉樹は今が旬ですので、引き続きご出品願います。特に、極力欠点が無いように造材していただくことが高値販売の肝となりますので、ご協力お願いいたします。
【お願い】合法認定事業者の登録をお願いするとともに、出荷時にはその都度必ず(合法認定番号及び「合法木材である」コメントを記載した内容の)納品書の提出をお願いします。

第519回 木材共販市況表

(令和2年1月23日実施)



出品量 2,400m³ 買い方 16社 落札率 95.0% 飯伊森林組合木材共販所

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円)	平均値(円)	平均石値(円)	備考
ひのき	3.0	元直	32~40	25,500	18,500	5,180	
			14	9,000	8,000	2,240	
		直	16	12,500	9,000	2,520	
			込	18~24	17,500	16,500	4,620
			込	26~28	16,500	15,500	4,340
			込	30上	16,000	15,000	4,200
	4.0	中込	16~22	15,000	13,000	3,640	
			込	24~28	15,000	13,000	3,640
		直	30上	16,000	15,000	4,200	
			元	16~22	18,500	17,000	4,760
			直	24~28	25,500	20,500	5,740
			直	30上	38,000	30,000	8,400
4.0	中直	12~14	13,500	8,000	2,240		
		込	16~22	18,500	15,000	4,200	
	直	24~28	16,000	14,000	3,920		
		12下	360	300			
すざぎ	3.0	直	18~22	10,500	8,000	2,240	
			24~32	10,500	8,500	2,38	
すざぎ	4.0	込直	16~18	9,500	8,000	2,240	
			20~22	11,500	9,500	2,660	
	4.0	直	24~28	13,500	11,000	3,080	
			30上	16,500	12,500	3,500	
5.0		直	22~36	12,500	11,000	3,080	
からまつ	3.0	直	14~22	7,500	5,500	1,540	
			込	12~14	6,500	5,000	1,400
		4.0	直	16	8,500	6,000	1,680
				込	18~28	13,000	11,500
	4.0	小直	30上	13,500	12,000	3,360	
			直	14~30	5,000	4,000	1,120
		4.0	直	12下	320	270	
				直	24~82	26,880	15,200
4.0		直	18~32	21,000	13,500	3,780	

総評

ひのき、出荷量増えるが価格横ばい。中目動かず。すざぎ、出荷量増え価格はやや上昇。からまつ引き合いあり、価格はやや上昇。さわら出荷あるも価格伸びず。本年も引き続き出荷のご協力をよろしくお願いいたします。